（西尾市）

<table>
<tr><td rowspan="7">市町村の基本情報</td><td>学校数</td><td colspan="3">小学校２５校、中学校９校、義務教育学校１校</td></tr>
<tr><td rowspan="4">地域学校協働活動推進員等の配置状況</td><td colspan="2">統括的な地域学校協働活動推進員</td><td>０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域学校協働活動推進員</td><td>１人</td></tr>
<tr><td colspan="2">統括コーディネーター</td><td>０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域コーディネーター</td><td>０人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">CS 及び地域学校協働本部設置状況</td><td>CS を導入している学校数</td><td>小１校</td><td>中０校</td></tr>
<tr><td>地域学校協働本部がカバーしている学校数</td><td>小０校</td><td>中０校</td></tr>
</table>

（活動の実際）

一色南部小学校では、平成 30 年度から、空き教室を有効に利用できるように、一色南部小学校空き教室利用活用運営委員会を発足した。空き教室の一室をコミュニティ広場と称し、毎月第２金曜日、第３木曜日に南小サロンを開催して地域の高齢者の集い場としてきた。

校舎内の一室にあるため、児童との交流も盛んに行われ、１年生生活科の昔遊びの講師をお願いし、交流を深めている。また、地域包括センターの方の協力を得て南小サロンの方と車いす体験をしたり、特別支援学級の学習成果を発表したり、児童の自己肯定感、達成感を高める一助になっていた。

そういった地域との連携をさらに密接なものにするため、令和４年度から学校運営協議会に設置を検討し、令和５年度から活動が始まった。

学校運営協議会は、奇数月の第３金曜日に主に行われる。主に学校が抱える問題に対して協議を進めている。一例として学校の南側にある学校園の活用がある。広い学校園のため、教職員が管理するには限界があり、広い学校園のほんのわずかな一角にさつまいも、ジャガイモを植えるだけにとどまっていた。協議会で議論をし、地域の方の協力を得てコスモス畑をつくった。

今後は、このような学校の問題を解決するために、一南小お助け隊を立ち上げる計画をしている。そのために、地域学校協働推進員がチラシを作成し、多くの方への登録を呼びかけている。

（◎成果と●課題）

◎学校の抱える問題を積極的に議論できる場、地域の方が学校現場を深く知る機会が増えた。
◎地域の方の経験を生かして学校に還元できるようになった。
●導入初年度のため、運営や事務に関する線引きが明確にできておらず、教頭の負担が増した。今後、教頭の負担軽減ができるように組織づくりをしていく。
●活動を行う予算の裏付けがない。次年度以降は、教育委員会に予算要望をし、予算を確保し、充実した地域学校協働事業が展開できるようにしていく。

（関係者の声）

・運動会に向けて、南小サロンの方と保護者の方が除草作業を行ってくれたおかげで、学校がとてもきれいになりました。（教員）
・これまで、学校内で教員が担っていた様々な活動を地域の方々が一緒に行っていただくことで、教員の負担軽減につながりそう。（教員）
・子供たちが安心・安全な学校生活が送れるよう、自分たちの活動が少しでも学校の役に立ったのであればうれしい。（地域の方）
・地域全体で子供たちを見守ることができていくようになると思う。（地域の方）